

脚 アルミ合金鋳物脚

軽くて錆びにくいアルミ合金を使用しています。

- ・水平型(-10タイプ)
- ・横付型(-08タイプ)
- ・直付型(長尺ベンチの-07タイプ、-12タイプ)

■アルミ合金の鋳造方法と特徴

	砂込め工法	グラビティ工法	ダイキャスト工法
基本型	木型	金型	金型
鋳造方法	木型を用いて砂型を制作し、溶解アルミニウムを流し込む。	金型へ溶解アルミニウムを流し込む。	金型へ溶解アルミニウムを圧入する。
製品の精度	やや粗い	高い	高い
最適な用途	家具部品・大型機械部品などの小・中量生産	家具部品・電気機械部品・装飾品・ホイルカバーなどの中量生産	精密機械部品などの大量生産

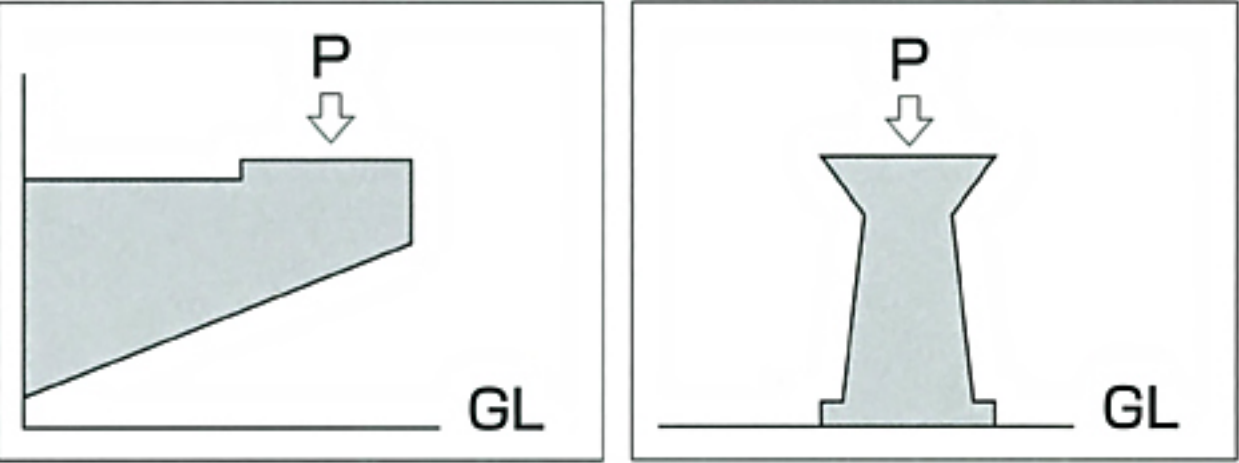
■アルミ合金の化学成分比アルミ合金は種類が豊富です

次に挙げる2種類は、家具部品などに用いられる代表的な鋳造用合金です。

	Cu	Si	Mg	Zn	Fe	Mn
AC4A	0.25以下	8.0~10.0	0.3~0.6	0.25以下	0.55以下	0.3~0.6
AC7A	0.10以下	0.20以下	3.5~5.5	0.15以下	0.30以下	0.6以下

	Ni	Ti	Tb	Sn	Cr	Al
AC4A	0.1以下	0.2以下	0.1以下	0.05以下	0.15以下	残量
AC7A	0.05以下	0.2以下	0.05以下	0.05以下	0.15以下	残量

アルミ合金鋳造脚の耐荷重試験



■-08タイプ試験結果

材質	発泡高密度ポリエチレン用	FRP (引き抜き)用	シェル 1308	シェル 1608
P=300Kg	2.4mm	1.2mm	1.7mm	2.5mm
P=600Kg	3.7mm	2.5mm	3.6mm	5.2mm
P=900Kg	5.8mm	3.7mm	5.6mm	9.5mm
P=1200Kg	破壊	5.5mm	—	17.7mm
破壊荷重	不明	1440Kg	1162Kg	1289Kg

発泡高密度ポリエチレン用は1200Kg時点、推定1100Kg前後で、すでに破壊していた。(変位10.7mm)

■上記は試験値であり、保証値ではありません。

■-10、-12タイプ試験結果

いずれも荷重1500Kg時点において、異常は認められず。(供試品8点)

脚 スチール脚

表面処理は、合成樹脂焼付塗装または亜鉛メッキを標準規格としています。

- ・水平型 (FRP・ブローシートの -02 タイプ)
- ・直付型 (FRP・ブローシートの -12 タイプ)

■アルミとスチールの特徴比較

	重量	硬度	引張強さ	耐食性	加工	再生
アルミ	比重 2.7	40HB	11.7Kg/mm ²	アルミは、大気中で耐食性のよい酸化皮膜が自然に形成され、自己防衛するためスチールのように赤錆がでない。	アルミの方が容易	アルミは、他の金属と比較して再生が非常に容易で資源の有効活用、廃棄物公害の防止に役立つ。
スチール	比重 7.8	241HB	19.0Kg/mm ²			